

平成 27 年 6 月 1 2 日
一般社団法人全日本持続的養鰻機構

持続可能な養鰻同盟（ASEA）
第 1 回会合の結果のお知らせ

このたび、「持続可能な養鰻同盟（ASEA）」の第 1 回会合が開催され、その結果についてお知らせします。

本同盟は、昨年 9 月に開催された日本、中国、韓国、チャイニーズ・タイペイによるウナギの国際的資源保護・管理に係る非公式協議の共同声明において、「各国・地域は、養鰻の池入れ制限の効果的な実施を確保するため、養鰻業者等からなる養鰻管理のための非政府団体を設立し、それぞれの団体が集まり、国際的な非政府組織「持続可能な養鰻同盟（ASEA）」を設立する」ことが盛り込まれたことを踏まえて設立されたものです。

記

1. 日時及び場所

日時：平成 27 年 6 月 2 日（火） 14：00～17：00
場所：TKP ガーデンシティ札幌駅前 ホール 2D
札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 19

2. 出席者

韓国：養鰻水産業協同組合 羅組合長ほか
台湾：財団法人台湾区鰻魚発展基金会 蔡董事長ほか
中国：水産局国際合作処 劉副処長
日本：一般社団法人全日本持続的養鰻機構 村上代表理事会長ほか

3. 結果

- ① ASEA の目的、活動、会長及び同盟事務局等を定めた規約を作成しました。
- ② 来年の定期会合が終わるまでの間、日本が同盟事務局を務めることとなり、村上寅美（一社）全日本持続的養鰻機構会長が同盟の初代会長に就任しました。
- ③ 各国・地域の養鰻管理団体より、それぞれの団体の概要、今漁期のシラスウナギの池入れ量や採捕状況、ウナギ資源の保護と管理の取組等について報告されました。
- ④ ウナギの資源管理の取組みについてのパンフレットを作成し、PR していくことについて合意されました。
- ⑤ 次回会合は来年 6 月頃に日本で開催することになりました。

4. 問い合わせ先

一般社団法人 全日本持続的養鰻機構 担当：若林
TEL：054-202-0218
FAX：054-202-0235